

平成17年度 水道事業会計の決算状況

炊事や洗濯、入浴など、わたしたちの生活に水は欠かせません。市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民の皆さんからいただく水道料金を主な財源に、水道施設の整備や維持管理などを行っています。

今月号では、表を使いながら、平成17年度水道事業会計の決算状況をお知らせします。



▲幌別浄水場

給水の状況

今後も安定した水の供給に努めます。



(平成17年度)

給水人口	5万2,672人
給水戸数	2万1,835戸
年間給水量	444万4,975立方メートル (1日1人当たり平均231リットル)
平均配水量 (1日当たり)	1万3,825立方メートル

水道事業会計の概要

水道事業は、地方公営企業法に基づき、地方自治体が経営する企業として運営されています。

また、企業の経営成績や財政状態を明らかにするため、会計制度は企業会計方式を採用しているほか、事業に必要な経費は経営に伴う収入（水道料金収入）をもって充てるという独立採算制を原則に経営しています。

このため、事業の運営に当たっては、本来の目的である公共の福祉を増進するとともに、常に効率的な事業運営を図り、企業の経済性を発揮することが求められています。

水道事業は、将来にわたり市民の皆さんへの安定給水を確保することを使命としており、そのためには、水源の確保や水道施設の整備などの事業が不可欠です。

収入と支出の概要

【収益的収支】

項目	金額
収益的収入	9億 215万円
営業収益 (うち給水収益)	9億 142万円 (8億4,355万円)
営業外収益	74万円
収益的支出	8億4,749万円
営業費用	6億7,670万円
営業外費用	1億6,658万円
特別損失	421万円
純利益	5,466万円

※表示単位未満を四捨五入しているため、積み上げ額が一致しない箇所があります。

【資本的収支】

項目	金額
資本的収入	1億8,691万円
企業債	1億7,960万円
負担金	731万円
資本的支出	5億6,704万円
建設改良費	3億4,050万円
企業債償還金	2億2,654万円
不足額	3億8,013万円

◎収益的収支

収益的収支とは、水をつくり、ご家庭にお届けするための収支を表したものです。

収入合計は、予算の9億1,613万円に対し決算は9億215万円です。1,398万円の減となり、支出合計は、予算の9億1,002万円に対し決算は8億4,749万円です。6,253万円の減となりました。

この結果、収支決算は、予算の611万円に対し5,466万円の黒字となりました。

この黒字額については、国などからの借入金の今後の元金償還に備えるため減債積立金に466万円、配水管の更新などの今後の施設整備に備えるため建設改良積立金に5,000万円を積み立てする予定です。

◎資本的収支

資本的収支とは、配水池の建設や配水管の整備などに使用するための収支を表したものです。

収入合計は、予算の2億60万円に対し決算は1億8,691万円です。1,369万円の減となりました。

一方、支出合計は、予算の5億8,970万円に対し決算は5億6,704万円です。2,266万円の減となりました。

この結果、収支決算は、予算の3億8,910万円に対し3億8,013万円の財源不足となりました。

この不足額については、収益的支出のうち現金の支出を必要としない費用の減価償却費などを内部留保している『損益勘定留保資金』で補てんしました。